

高等教育自学考试日语专业系列教材

じつよう
にほんご

实用日语

- 总主编 彭广陆
- 副总主编 何琳/马小兵
- 审订 守屋三千代

中级(下册)

- 何琳 分册主编
- 董继平 铃木典夫 分册副主编



北京大学出版社
PEKING UNIVERSITY PRESS

高等教育自学考试日语专业系列教材

实用日语

总主编 彭广陆

副总主编 何琳 马小兵

审订 守屋三千代

常州大学图书馆
中级(下册)章藏

主编 何琳

副主编 董继平

铃木典夫



北京大学出版社
PEKING UNIVERSITY PRESS

图书在版编目(CIP)数据

实用日语: 中级. 下册/彭广陆总主编;何琳主编. —北京: 北京大学出版社, 2012. 3
(高等教育自学考试日语专业系列教材)

ISBN 978-7-301-20202-9

I. ①实… II. ①彭…②何… III. ①日语—高等教育—自学考试—教材 IV. ①H36

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2012)第 022136 号

书 名: 实用日语: 中级(下册)

著作责任者: 彭广陆 总主编 何琳 主编

责任编辑: 兰 婷

标准书号: ISBN 978-7-301-20202-9/H·3003

出版发行: 北京大学出版社

地 址: 北京市海淀区成府路 205 号 100871

网 址: <http://www.pup.cn>

电 话: 邮购部 62752015 发行部 62750672 编辑部 62767347 出版部 62754962

电子信箱: lanting371@163.com

印 刷 者: 北京鑫海金澳胶印有限公司

经 销 者: 新华书店

787 毫米×1092 毫米 16 开本 16.75 印张 250 千字

2012 年 3 月第 1 版 2012 年 3 月第 1 次印刷

定 价: 36.00 元

未经许可,不得以任何方式复制或抄袭本书之部分或全部内容。

版权所有,侵权必究

举报电话: (010)62752024 电子信箱: fd@pup.pku.edu.cn

编委会成员

主任：彭广陆（北京大学教授）

顾问：守屋三千代（创价大学教授）

（以汉语拼音为序）

毕晓燕（首都师范大学讲师）

稻垣亚文（北京博师堂语言文化学校外国专家）

董继平（首都师范大学副教授）

宫崎泉（北京林业大学外国专家）

何琳（首都师范大学副教授）

李丽桃（首都师范大学副教授）

刘健（首都师范大学讲师）

铃木典夫（北京外国语大学外国专家）

铃木峰子（原日本静冈县滨松市立中学教师）

马小兵（北京大学副教授）

磐村文乃（清华大学外国专家）

彭广陆（北京大学教授）

王轶群（中国人民大学副教授）

周彤（北京科技大学副教授）

前 言

《实用日语 初级（上册·下册）》、《实用日语 中级（上册·下册）》、《实用日语 高级（上册·下册）》是北京市高等教育自学考试日语专业“初级日语（一）（二）”、“中级日语（一）（二）”、“高级日语（一）（二）”课程的指定教材，是根据有关教学大纲及考试大纲编写的。本教材具有以下特点：

（1）编写阵容强大

编者均为高等院校专门从事日语教学和研究的专家学者，长年活跃在日语教学第一线，有着丰富的日语教学经验和编写日语教材的宝贵经验，这是本教材质量上乘的根本保证。

（2）语言地道、生动、实用

本教材会话课文由多名中日专家、学者在充分讨论的基础上集体撰写，保证了语言的地道、规范，为广大日语学习者提供了优质的语言学习素材。会话中固定的出场人物、连贯的故事情节，都为充分体现日语的特征提供了保证。同时场景自然合理、语言生动，引人入胜，力求帮助学习者轻松快乐地完成学习。

（3）内容充实、贴近生活

本教材内容贴近实际生活，能够满足学习者在生活和工作上的需求。为保证教材的实用性，除了日常生活的话题外，还穿插了必要的商务活动等相关内容，力求帮助学习者将来从事与日语有关的商务工作打下坚实的基础。本套教材不仅注重语言本身，还注重文化上的差异，帮助学习者培养良好的跨文化交际的能力。

（4）编排新颖、形式多样

本教材无论在形式上还是内容上，均努力突出高自考的特点，把学习者的需求放在第一位。教材编排重点突出、层次清晰，注重中国人的学习特点，适合成年人自学日语，同时也更加适合开展课堂教学。每课均由课文、会话、单词、语法学习、词汇学习、练习、自测题组成，不仅内容充实，各种索引也颇为完备。

（5）简明、灵活、高效

本教材解说简明扼要，练习形式灵活多样，为帮助学习者及时检测自己学习的状况，还配有涵盖所有学习重点的自测题，这样可以保证学习者高效地掌握日语，为学

习者在听说读写译诸方面的均衡发展打下牢固的基础。

(6) 与日语能力考试直接接轨

编者在编写本套教材时,充分地考虑到与日本国际交流基金会和日本国际教育支援协会实施的日语能力考试的衔接,可以说,《实用日语》涵盖了日语能力考试所有不同级别的语法项目以及绝大多数的单词,其对应情况大致如下:

《实用日语 初级(上册)》——N5(原4级)

《实用日语 初级(下册)》——N4(原3级)

《实用日语 中级(上册)》——N3(原3级、2级)

《实用日语 中级(下册)》——N2(原2级)

《实用日语 高级(上册·下册)》——N1(原1级)

总之,本套教材不仅是日语高自考的指定教材,也是希望用最短的时间轻松地掌握日语的学习者的首选教材,同时,还适合作为普通大学日语专业,大学公外、二外、辅修,大专、高职的教材使用。

衷心希望本套教材可以帮助以汉语为母语的学习者顺利打开日语的大门,为学习者日语综合应用能力及跨文化交际能力的培养助一臂之力。

《实用日语》编委会

2010年5月7日

《实用日语 中级（上册·下册）》使用说明

《实用日语 中级（上册·下册）》是为参加自学考试的日语中级学习者精心设计的教材，力求帮助学习者通过接触自然地道的日语，掌握实用的日语语言知识和语言技能，提高日语综合应用能力，同时更多地了解日本的人文知识，培养良好的跨文化交际能力。

《实用日语 中级（上册·下册）》的整体结构、学习内容、学习方法的指导均围绕自学考试以业余自学为主、学习时间灵活自由等特点设计，帮助学习者以最高效、最简便易学的方法掌握日语。同时，本教材也适合在普通高校、民办高校、高职、中专等作为中级日语教材使用。

针对中级学习者的学习特点，《实用日语 中级（上册·下册）》制定了“阅读能力重点化、交际技能实用化”的编写方针，对整体结构进行了统筹规划，上下册各设计了10课丰富实用的学习内容。

各课由“课文1—阅读文”、“课文2—会话文”、“单词”、“词汇学习”、“语法学习”、“练习”和“自测题”组成。

各课首页是该课需要达到的能力目标以及主要语法项目，帮助学习者明确学习目的，使学习更加具有针对性，从而提高学习效率。

课文（読解・会話）：由两个单元组成。第一单元为阅读文，上册1000字左右、下册1500字左右，中级难度，内容丰富、题材多样，旨在帮助学习者熟悉各种各样的日本文体，了解日本的社会文化，学习日语语言知识，掌握日语技能，培养相应的日语应用能力。第二单元为会话文，以交际功能为核心，设立了一个个人物关系清晰、场景明确、相对独立的会话模块，突出会话的实用性。会话右侧设有会话解说，对于该会话所要突出的功能以及实现该功能所需会话策略进行简明扼要的说明分析。与该会话功能相关的常用的固定表达用彩色粗体字标示出来，学习的时候应当留意此部分，熟读并背诵，以达到置身于该场合时能够做到“脱口而出”。对于课文中用法特殊、较难理解的语句等，在会话文下方以注释栏的形式给出了解说，供自学时参考。课文是各课的学习重点，语法、词汇、练习均围绕这个部分展开。

单词表（単語）：单词表安排在课文之后，学习者可以首先阅读课文，了解课文大意，通过已有的知识及上下文语境推测新单词的词义，然后再查看单词表确认，培养推测未知单词词义的能力，这也是提高阅读能力行之有效的方法之一。为了使用方便，各个学习环节中出现的单词分别排列于其后，希望大家在学习时养成“先推测、后确认”的阅读习惯。

词汇学习（語彙の学習）：要达到中级日语水平，至少需要掌握4000左右的词汇，因此词汇量的扩充非常重要。“词汇学习”的环节选择本课出现的用法多、义项

多的常用词语，配以浅显易懂的例句及简明的释义，一方面帮助学习者掌握重点词汇，另一方面希望能够帮助学习者培养良好的词汇学习习惯。中级阶段的词汇学习不能只限于课文中出现的意思，对于常用词汇，要争取掌握其他意思。由于篇幅所限，教材中只能将最重要的词汇列举出来，学有余力的同学不妨效仿此法，通过查词典等方式将学习过程中遇到的常用单词的典型例句摘录下来，进一步扩充自己的表达。有足够的信息输入方能保证信息输出的顺利，多背单词、多记例句、勤查词典，持之以恒地坚持下去，我们相信你的日语能力一定会有大幅的提高。

语法学习（文型の学習）：语法解说在保证通俗易懂的前提下，适当兼顾专业性及系统性，帮助学习者更好地理解语法项目的结构、规律、意义和功能。例句均为常见易懂的句子，同时兼顾了各种接续方式，体现了该项目最具代表性的用法，建议大家通过具体的例句去感受、体会、理解每个项目的意义、功能、接续方式及使用语境。语法条目按照课文中的出现顺序排列，条目下为课文中对应的例句。

练习（練習）：包括四部分，分别为“内容确认”、“词汇练习”、“语法练习”及“应用练习”。其中，前三个部分分别与“课文”、“词汇学习”和“语法学习”这三个环节相对应，既可以在进行各个环节的学习过程中完成，也可以在学完之后集中练习，以便加深理解，融会贯通，巩固所学的知识。应用练习兼具实用性与趣味性，帮助学习者提高日语综合应用能力。应用练习均为自学者可独立完成的形式，也可供助学单位做课堂活动的素材。

自测题（模擬テスト）：仿照北京市高等教育自学考试的考试形式，涵盖各课所有主要学习重点，帮助学习者了解自己掌握的情况，以便及时查漏补缺。

汉字学习（漢字の学習）：每课的末尾附有一个“汉字学习”的小专栏，目的是帮助学习者体会日语汉字读音的规律，培养推测汉字读音的能力。汉字学习以本课出现的主要汉字为线索，拓展部分为常见常用的单词，其中大部分是日语能力考试2级的汉语词汇，同学们可以根据既有知识推测其读音，然后查词典确认。该专栏里所列的单词不作为自学考试的考点。

本教材在卷末配有各部分内容索引，便于学习者在使用过程中查找。同时，我们聘请了专业播音员录制了课文、单词，制成了光盘，建议大家在学习的过程中多听多练。另外，为了给自学的同学更大的帮助，本书作者将词汇学习、语法解说的例句也录制成了声音文件，放在了网站里，请登录使用（<http://www.bjbsht.com/>）。

完成《实用日语 中级（上册·下册）》的学习后，日语水平可以达到全日制普通高等院校日语专业专科2年级的结业程度，可以参加北京市高等教育自学考试日语（基础阶段）专业“中级日语（一）（二）”的考试。同时达到新日语能力考试3级、2级的水平。

祝你学习顺利！

《实用日语》编委会

2011年5月18日

缩略语、符号一览

N——名詞（名词）

A——形容詞（形容词）

A_I——I類形容詞（I类形容词）

A_{II}——II類形容詞（II类形容词）

V——動詞（动词）

V_I——I類動詞（I类动词）

V_{II}——II類動詞（II类动词）

V_{III}——III類動詞（III类动词）

自——自動詞（自动词）

他——他動詞（他动词）

副——副詞（副词）

連体——連体詞（连体词）

感——感動詞（叹词）

接——接統詞（连词）

助——助詞（助词）

S——文（句子）

①①②③——声调符号（有两个声调时，常用者在前）

目 次

第11課 朝食についてのアンケート結果より	1
✿能够理解并分析图表等统计数据及其相关信息	
✿掌握说明图表等数据时常用的表达方式 ✿掌握表示关心和慰问的表达方式	
第12課 中国人女性の結婚観	29
✿掌握口语表达方式的文章的特点 ✿能够准确地把握人物的观点、态度	
✿能够对自己了解的事物进行说明	
第13課 セラピーロボット	52
✿掌握说明文的特点 ✿能够概括说明文所说明的事物的特点	
✿掌握退换货时的表达方式	
第14課 長男のこと	76
✿能够读懂记叙文 ✿能够根据上下文正确理解词汇的含义	
✿能够准确理解、体会作者的心情 ✿能够提出简单的投诉	
第15課 やさしい経済講座 円高	97
✿能够阅读简单的经济题材的文章 ✿能够快速准确地从文章中获取必要的信息	
✿能够用得体的表达方式催促、提醒对方	
第16課 プラプラ	118
✿能够读懂语言个性较强的文章	
✿能够理解作者通过个性化表达方式阐述的观点	
✿能够完成简单的工作上的协商	
第17課 本田宗一郎	138
✿能够读懂传记性文章 ✿掌握传记性文章的写作方法	
✿能够简单地介绍、说明产品	
第18課 日本のポップカルチャー	161
✿能够读懂专题性的文章 ✿能够准确理解文章大意并把握主要信息	
✿能够协商变更约定的事情并说明理由	
第19課 南京の旅	180
✿能够读懂游记类文章 ✿理解文章大意并能准确把握作者的感受	

✿能够用恰当的表达方式提出反对意见

第20課 企業が求める人材は? 201

✿能够迅速抓住文章的重点内容 ✿能够理解论据与论点之间的关系

✿能够用日语接受一般的面试

词汇解说索引 226

单词索引 227

语法索引 241

参考书目 243

编者后记 244

北京市高等教育自学考试课程考试大纲 245

第11課

朝食についてのアンケート結果より

学習目標

● 能够理解并分析图表等统计数据及其相关信息 ●

● 掌握说明图表等数据时常用的表达方式 ●

● 掌握表示关心和慰问的表达方式 ●

句式

- Nより<起点、出处>
- N抜き<排除>
- Nに基づいて／に基づき／に基づく<根据>
- Vたところ<发现>
- ～だけに<成正比的因果关系>
- ～(が)ゆえ(に)<原因>
- Nならでは<特有的>
- ～一方(で)<不同的方面>
- ～わりに(は)<成反比的转折关系>
- N向き<适合>
- ～上で<判断成立的范围>
- Vざるを得ない<唯一的选择>
- V(よ)うではないか<号召>
- にく<累加>

ユニット 1 読解

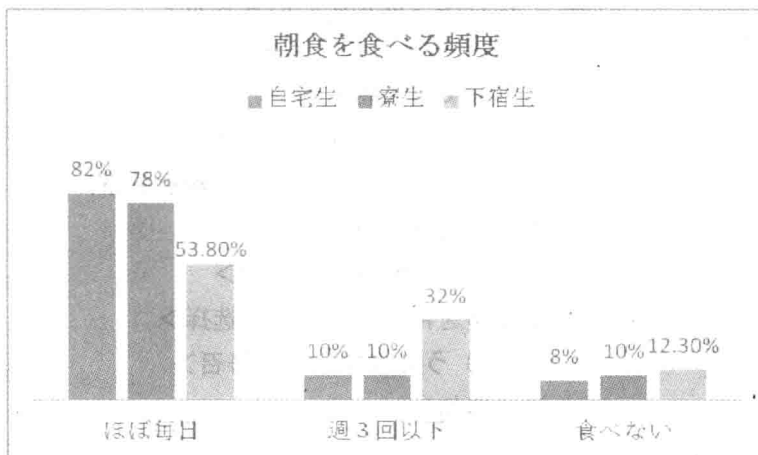
健康便り

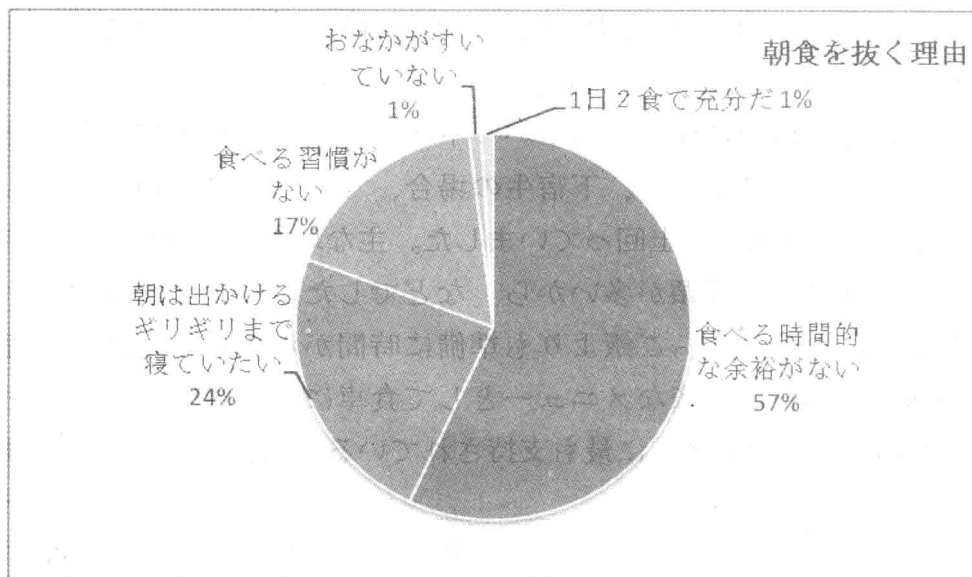
東西大学「若者の食文化を考える会」

朝食についてのアンケート結果より

「朝食は一日の健康のバロメーター」と言われていますが、最近では「朝食抜きの若者たち」というニュースも目にします。私たち「若者の食文化を考える会」では、東西大学の学生の朝食についての意識と現状を把握するため、学部の1年生～4年生を対象に、朝食についてのアンケート調査を実施しました。調査期間は8月6日～12日、有効回答数は400件です。以下、調査結果に基づいて、問題を分析してみたいと思います。（調査の詳細は東西大学のホームページに掲載しています）

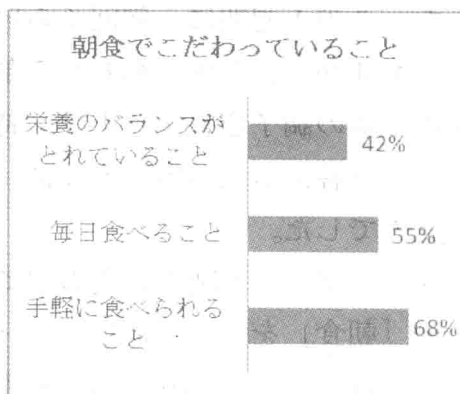
まず、朝食を食べる頻度について尋ねたところ、「朝食を食べないと一日の活力が出ない」「朝食抜きは考えられない。頭も働かないので…」などの理由で、「ほぼ毎日食べている（73.5%）」と回答した人が7割程度いて、「朝食」をしっかりと食べている人が比較的多いことが分かりました。自宅生・寮生・下宿生別に見ると、「ほぼ毎日食べている」人の割合は、自宅生の場合、親と同居しているだけに、1年生～4年生までいずれ





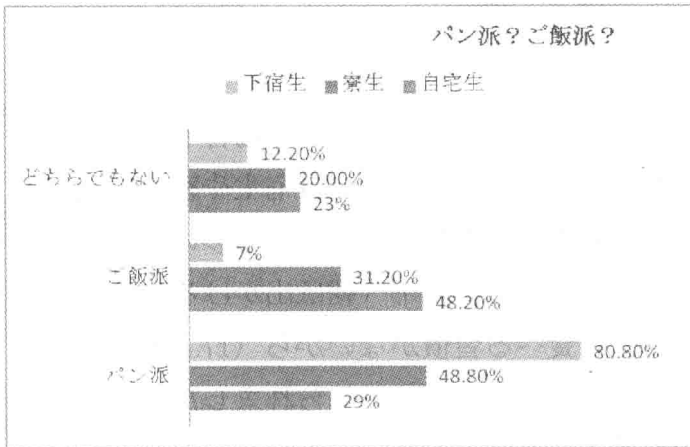
も80%以上で、1年生では91.3%にも達しており、寮生の場合もほぼ同じ傾向が見られました。一方、下宿生の場合は53.8%で、自宅生や寮生に比べて数値がかなり低くなっています。朝食を抜く理由として最も多いのは、「食べる時間的な余裕がないから（57%）」で、以下「朝は出かけるギリギリまで寝ていたいから（23.7%）」、「食べる習慣がないから（17.4%）」などが続き、「朝食」よりも「睡眠」を優先する傾向が見られました。これは、学生生活の忙しさや通学時間の長さゆえだと考えられます。なお、下宿生でも4年生は朝食をしっかり取る傾向が見られました。これは就職活動をする4年生ならではの、自己管理の現れだと言えるでしょう。

次に、朝食でこだわっていることについて複数回答で聞いたところ、「手軽に食べられること」が68%で最も多く、続いて「毎日食べること」が55%、「栄養のバランスがとれていること」が42%でした。「手軽に食べられる」が最も多かったのは、朝食時は忙しい時間帯だけに、通学などの準備に追われ、「スピード」を優先しているからでしょう。その一方で、栄養や健康を意識していることもうかがえました。



さらに、メニューについて聞いたところ、自宅生の場合、「ご飯派」と回答した人が48.2%でした。朝食は、「ご飯&味噌汁」のセットが定番となっていて、白いご飯のベストパートナーとして納豆が高い支持を集めています。これに対して、下宿生の場合、「パン派」が80.8%にも達し、「ご飯派」を大きく上回っていました。主な理由は「パンは時間がかからないわりには、種類が多いから」などでした。パンと飲み物だけで十分な朝食になる上に、ご飯よりも準備に時間がかからないため、慌ただしい朝の時間帯に最適なメニューとして食卓に上る頻度が高いようです。ところが、「パン派」に最も支持されているのは、主食のパンではな

くむしろ「コーヒー」や「紅茶（56.9%）」でした。2位が「ヨーグルト（48.5%）」、3位が「牛乳・豆乳（41.2%）」で、「乳製品」の人気の高さがうかがえます。また、見逃せないのは、「ご飯派」「パン派」とも



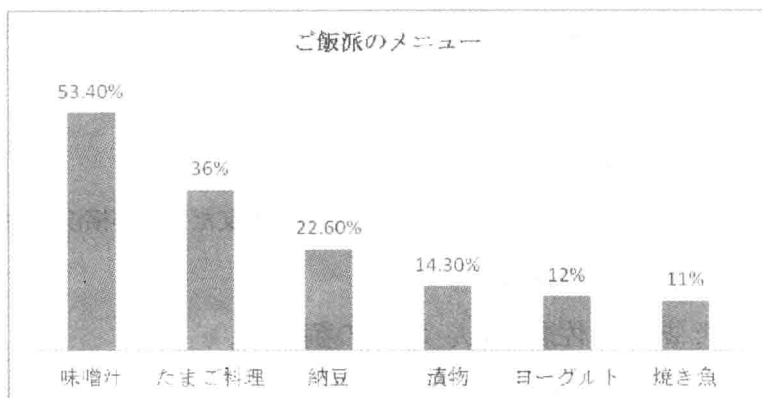
に「卵料理」（ご飯派49.8%、パン派34.2%）の人气が高かったことです。卵料理はバリエーションに富み、「ご飯」にも、「パン」にも合う朝食向きの副食として重宝がられていることが読み取れます。

なお、ご飯派でも、パン派でも、共通して心配されるのが果物の不足でした。この1週間に、何回くらい果物を食べたかを質問したところ、多い人でも4回で、全体の約6～7割がほとんど食べていないと答えました。果物は体の調子を整える上で、特に朝食には欠かせないものです。朝食が大事だと答える人が多いわりに、このような結果が出ていることは、とても意外でした。

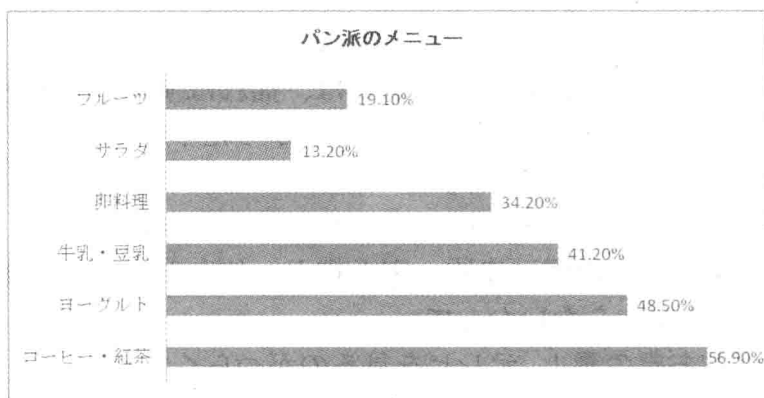
今回は朝・昼・晩の3食の中で、特に時間に追われながら食べざるを得ない「朝食」をテーマにアンケート調査を行ないました。この結果から、思った以上にしっかりと朝食を食べている人の多いことが分かりました。

その一方で、特に下宿生の場合、朝食を抜く傾向が見られました。また、果物を食べる回数が全体に少ないという傾向も見られました。これらの点は今後の課題だと

言えるでしょう。朝食は準備など時間の関係で、3食の中でも特に「合理性」が求められる食事だとも言えますが、朝食こそ元気の源となるものです。



学生のみなさん、朝食をしっかりと食べて、パワフルな学生生活を送ろうではありませんか！



朝食の効果

- | | |
|-----------|-----------------|
| 1. 目覚めがいい | エネルギー補給で体が目覚める |
| 2. 体にいい | 朝ご飯の習慣は肥満防止に役立つ |
| 3. 頭にいい | ブドウ糖が脳の活動を活発にする |
| 4. おなかにいい | おなかの調子を整える |
| 5. 肌にいい | ビタミンやミネラルを補給できる |



ユニット2 会話

地震後のお見舞い

会話機能——見舞い

（東日本大震災3日後、北京にいる中国人の友だち劉が横浜の佐藤久美に電話をかける）

久美：はい、佐藤です。

劉：あつ、佐藤さん、北京の劉です。

久美：ああ、劉さん、久しぶりですね。

劉：テレビで震災のニュースを見て、心配になって。この時間に電話していいのか迷ったけれど、思い切ってお電話してみました。

久美：ありがとう。ご心配いただいてすみません。

劉：横浜は大丈夫でしたか。

久美：ええ。でも、けっこう揺れたんですよ。

劉：そうですか。地震の時は、家の中にいたのですか。

久美：いいえ、スーパーにいたの。最初は、揺れはすぐ収まると思ったけれど、なかなか収まらないので、こわかった！

劉：わあ、そうだったんですか。

久美：まあ、被災地に比べれば大したことはないですけどね。

劉：そうですね。大地震に津波。家も車も、何もかもすべて流され、家族の行方も分からないなんて…。

久美：ほんとうにお気の毒！ テレビを見るのがつらくてね…。

劉：ああ、そうですね。でも、日本の人の落ち着きや秩序ある行動には頭が下がりました。中国でも話題になっています。

久美：そうですか。被災地が一日も早く復興すると良いんですけど…心配でね。

劉：そうですね。それでは、お体に気をつけて。

久美：ありがとう。劉さんもお元気でね。

劉：はい、ありがとうございます。じゃ、また。

★当对方遇到困难、生病时，日本人习惯及时表示慰问。

★表示慰问时：1）表示自己的担心。2）询问对方的情况。3）安慰、鼓励对方。

★表示慰问不宜过长，不宜过多介入对方私人的空间，点到为止即可。